

ツアーズ EXPO ジャパン 2019 大阪・関西

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー



旅行業界研究セミナーで講演する田川博己 JATA 会長

41セミナーに約2500人が参加 実務に直結し、経験値に広がり厚み

「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2019 大阪・関西」会期中の10月24日と25日、業界日限定プログラムとして「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」が実施されました。旅行業界の実務に直結し、業界人の経験値に広がり厚みをもたらすセミナーは41を数え、約2500人が参加しています。

訪日教育旅行を拡大するための具体策

未来を担う若い世代の訪日教育旅行は、将来の日本ファンにも繋がるものと期待されています。セミナーでは、訪日教育旅行誘致の第一人者である長野県長野高等学校海外交流アドバイザーである恵崎良太郎氏が、訪日教育旅行の意義として、(1) 受入地域におけるリピーターの獲得、(2) 日本の児童・生徒の国際理解、生きた外国語に触れる、(3) 未来志向の国際関係を築く、という3点を指摘。前長野県観光部国際観光推進特別顧問でもある恵崎氏は、中国や台湾の市場特性などについても説明し、訪日教育旅行を通じた内容の濃い相互交流への期待を強調しました。

「自然」×「文化」×「スポーツ」の融合による 観光先進国への挑戦!

NPO法人みちのくトレイルクラブの相沢久美氏、小浜市・若狭町日本遺産活用推進協議会の下仲隆浩氏、Ageshio Jpanの古田桂一氏が登壇し、パネルディスカッションが行われました。

モデレーターを務めたJT総合研究所の山下真輝氏が「地域独自のストーリーと結び付く旅行商品の魅力」を訴えたのを受け、相沢氏は、「自然と人との共生」の願いを込め「みちのくトレイル憲章」を定めたことを紹介。下仲氏は、1500年におよぶ食文化のツーリズム化を目指す取り組みを説明し、外国人対象の空手専門旅行会社の役員である古田氏は、「空手ツーリズム」の創出へ意欲を示しました。

旅行業界研究セミナー／旅行業界トップによる 「旅行業界の未来」についての講演

旅行業界への就職を希望する学生を対象に、業界の第一線で活躍する若手社員が旅行業の魅力などを語り合ったセミナーでは、JATAの田川博己 JATA 会長(写真)が「旅行業界の未来」をテーマに講演。

田川会長は、「双方向の交流人口が順調に増加しており、旅行業は成熟産業ではなく成長産業」と説明。また、AIに仕事を奪われる時代を迎える中で、旅行会社のカウンターやツアーコンダクターなどは「人間が担う業務であり、AIには取って代われない」と指摘し、運輸業や宿泊・サービス業なども含めた裾野の広いツーリズム産業の可能性を強調しています。

知られざるイスラエルの魅力 ～テルアビブへの直行便就航に向けて～

来春に予定されているテルアビブへの路線開設に合わせて、日本イスラエル親善協会副会長の池田真氏はイスラエルと周辺国を含む旅行商品造成に役立つ情報を紹介。イスラエルはメソポタミア文明とエジプト文明の中間地点にあり古代から文化が栄えたことと、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の発祥地であること、古代と近代の調和、豊富な観光資源、豊かな食文化などを指摘し、多様な旅行商品造成が可能であることを訴えました。「イスラエルは小さな国でも見所満載の魅力的な国で、また行きたいと感じさせる、リピーターの多い国です。是非多くのツアーを商品造成して下さい。」と締めくくりました。